

2010年4月15日

## **MINI ブランドとして初のクロスオーバー・モデル 日本市場でのモデル名は MINI CROSSOVER(ミニ・クロスオーバー) 日本市場導入時期は来年春ごろの予定**

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役:ローランド・クルーガー)は、MINI のラインナップに加わる 4 番目のモデルの日本市場における独自のモデル名と、日本市場導入時期を発表した。MINI としては初めて四輪駆動システムがオプションで搭載可能で、さらに初めて 4 枚のドアを採用したこのモデルは、その独特なキャラクターをより強調するため、日本市場においては「**MINI Crossover(ミニ・クロスオーバー)**」というモデル名を採用し、来年の春ごろ市場導入する予定である。尚、日本市場に導入されるモデル・バリエーション、価格や仕様は未定である。

### **MINI Crossover について**

MINI(ハッチバック)、MINI Convertible(ミニ・コンバーチブル)、MINI Clubman(ミニ・クラブマン)に続いて、MINI ファミリーに加わる 4 番目のモデルである MINI Crossover は、MINI として初めて 4 枚のドアを採用したモデルで、空間をさまざまな用途に活用できる自由度に優れたモデルである。また、シート・ポジションを MINI のハッチバック・モデルよりも高い位置に設定したことで、走行上の安心感も向上している。さらに、MINI Cooper S Crossover には MINI として初めて四輪駆動システム「MINI ALL4」がオプションとして設定され、本物の走りを求めるドライバーにとってもさらに魅力的なモデルである。

また、MINI Crossover は、室内にも MINI ブランドならではの空間が広がり、随所に革新的なデザインや機能が盛り込まれている。従来のセンター・コンソールに代わって、前席から後席にかけて室内を前後に伸びる「MINI センター・レール」は世界にも例のない装備品であり、小物入れやカップ・ホルダー、外部オーディオ機器、携帯電話を始めとしたあらゆる快適装備品を自由に組み込むための新たな可能性を切り開くものである。これらは好きな位置に固定できるはめ込み式エレメントが装備されており、小物入れにはドライバーと助手席の乗員が小物入れ内部の仕切りを必要に応じて設定できるため、さまざまな用品や道具類をすぐに手の届く場所に収めておくことができる。またこのセンター・レールは、デザインと機能性の両面で前席と後席をつなぐ画期的な役割も果たすものである。

・MINI Crossover には、4 つのシートが標準装備され、オプションとして後席には 3 人掛けのシート・ベンチが用意される。フット・スペース、ヘッド・クリアランス、ショルダー・スペースを広く設計した室内は、長距離ドライブでも快適に過ごすことができ、リア・シートは、それぞれ前後位置とバックレストの角度を個別に調節することができる。シート・ベンチの場合も 60:40 の比率で前後位置を、また 40:20:40 の割合でバックレストの角度を個別に調節でき、バックレストを完全に折り畳むと、ラゲッジ・コンパートメント容量は通常の 350 リッターから 1,170 リッターに広げることが可能である。

\*ドイツ国内市場向け(2010年2月現在)の仕様を基準として記載されており、日本市場においては仕様、標準装備品、オプション設定などが異なる場合もあります。なお、仕様は随時変更される可能性がありますので予めご了承ください。

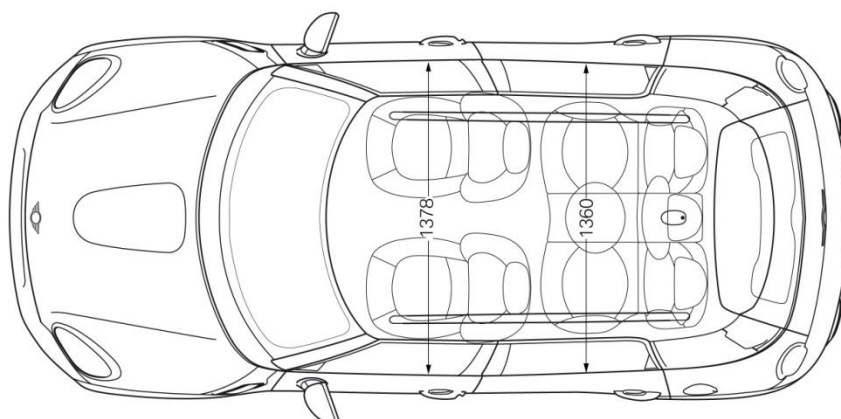
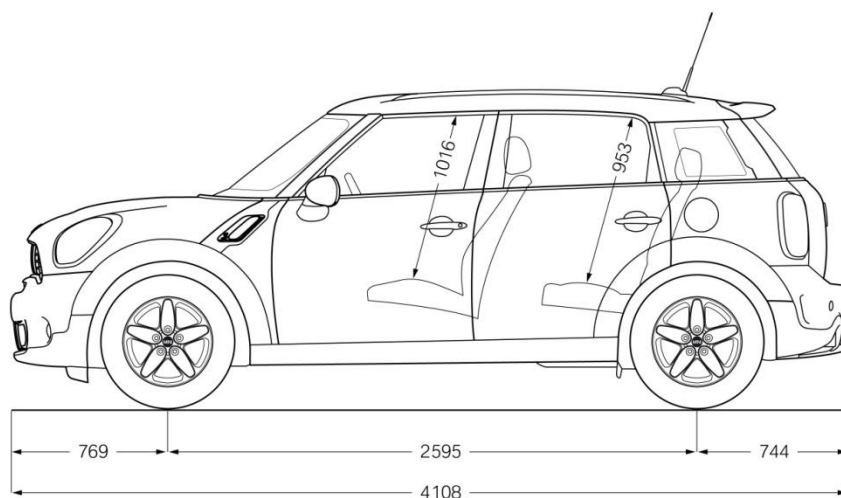
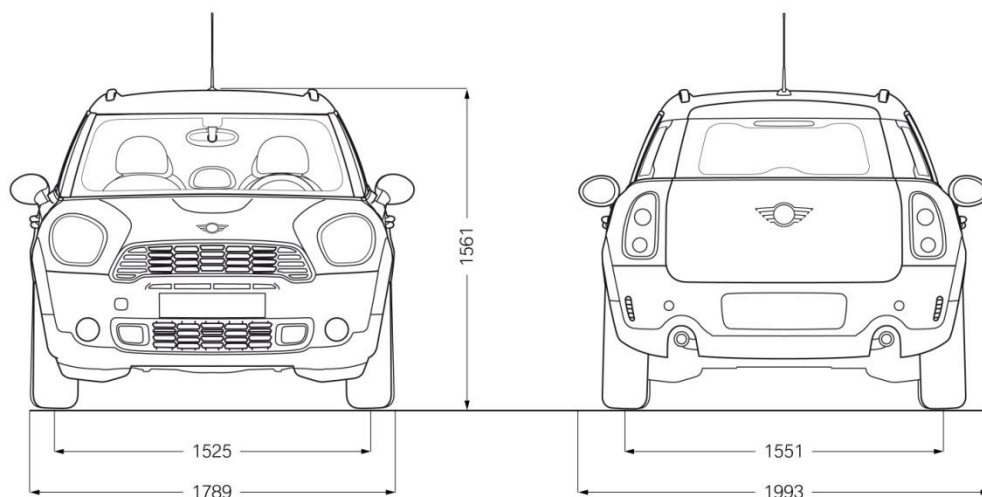
この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、  
MINI カスタマー・サポート:フリーダイヤル 0120-56-5532 をご掲載ください。  
受付時間:9:00-20:00 年中無休  
MINI インターネットウェブサイト: <http://www.mini.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:  
BMW Japan Corp. 広報室:03-6259-8026 (製品広報)

## 添付資料：車体寸法

\*車体寸法は BMW AG 発表のデータとなるため、日本仕様とは異なる場合があります。なお、仕様は随時変更される可能性がありますので予めご了承ください。

### MINI Cooper S Crossover



## MINI Cooper Crossover

